

(第2号様式)

開邦高第 2319号
令和6年 3月29日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立開邦高等学校・中学校学校
校長 渡久平 元一
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月21日	場所	視聴覚教室	出席 状況	12名(学校評議員3名)
第2回	日時	12月15日	場所	視聴覚教室	出席 状況	12名(学校評議員3名)
第3回	日時	3月21日	場所	視聴覚教室	出席 状況	12名(学校評議員3名) 評議員内1名は書面参加

2 学校評議員に求めた事項

- ・学校運営についての助言。
- ・進路指導についての助言。
- ・寮の運営についての助言。
- ・生徒指導についての助言。

3 学校評議員の意見

- ・今年度の大学進学率及び内進生の大学進学率及び、生徒のチャレンジについて。
- ・服装自由化のニュースが出ていた。開邦としての構想を確認。保護者を巻き込んで、男子の制服をブレザーにしてはどうか。
- ・コロナ禍が明けて、全ての行事が復活し、中高の海外研修も復活したことについて。
- ・授業を重視する保護者の意見がある中で、心の教育をどう実施していくか。
- ・開邦中1期生の二十歳の集いを開催できたことについて。

4 学校運営に反映した事項

- ・今後も、難関大学等へのチャレンジを後押ししていく。
- ・開邦中学校卒業生の二十歳の集いは、卒業生中心の運営で続ける。
- ・コロナ後復活した高校の台湾研修や中学の海外研修の功績は大きいと考え、今後も継続していく。
- ・教育相談を主とした、相談から支援にいく考え方へと変遷をたどりながら、生徒の声を活かした生徒指導に取り組む。

5 課題その他

- ・生徒の心の教育の充実